

令和 6 (2024) 年 4 月 1 日

栃木県デジタル社会形成推進条例 が施行されました!

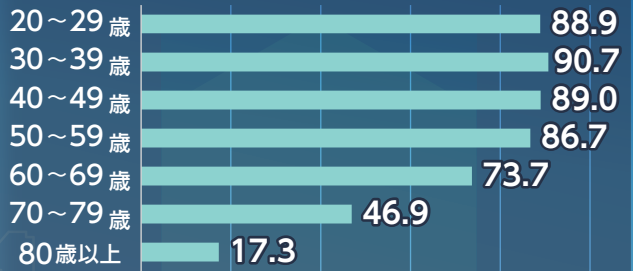
デジタルによって
便利な社会に
なりつつあります



デジタルが苦手という人も
まだまだ多く
専門的な人材も不足!



年齢別スマートフォン利用状況



(総務省 令和 4 年通信利用動向調査から抜粋)

企業におけるデジタル化推進の課題



(総務省 令和 5 年版情報通信白書から抜粋)

デジタルを活用 して

誰もが 便利 で 快適 に

暮らし続けることができる社会 を目指しましょう!

便利なサービスが提供され
効率的な仕組みが構築される

全ての県民が
デジタルの恩恵を享受できる

安全で快適に
デジタルを利用できる

デジタル人材が育ち
活躍できる



← 条例の詳細はこちら

デジタルを使うとどんなことができる? 》 詳しくは裏面へ

とちぎデジタルハブ

は、栃木県内の様々な課題を持つ人と、デジタルによる解決手法を持つ人をマッチングし、課題の解決を目指す仕組みです。



とちぎ でじたる はぶ
Digital Hub

みんなの課題をみんなで解決しよう！

デジタルで解決する
能力・意欲がある人達

- ・課題解決方法の提案
- ・新しいソリューション

生活や事業の困りごとを
感じている人達

- ・日常にある課題
- ・多くの人が感じている困りごと



『とちぎデジタルハブ』を通じて地域課題の解決を加速させるとともに、新たな技術の開発やビジネスモデルの創出を目指しています。

デジタルを使うと こんなことができる！

～これらは「とちぎデジタルハブ」の取組です～

災害接近時の「適切な避難行動」

気象警報発表時にエリアを指定したバナー広告で呼びかけ。



多くの人に適切なタイミングで避難準備を促し、逃げ遅れによる被害をなくす。



AIカメラで日光の渋滞回避

混雑する大型連休や紅葉の時期にAIカメラで車両を計測。SNSやLED掲示板で渋滞情報を発信。



渋滞箇所の迂回、渋滞時間の回避、駐車場への効率的な誘導。



佐野らーめん店の混雑状況可視化

混雑状況をマップに反映。周辺の観光情報にも案内。



混雑を避けることにより、浮いた時間を活用した市内周遊につなげる。

高い満足度
(アンケート全体の約7割が満足と回答)



被害額
3億3,500万円/年

鳥獣害対策

カワウによる漁業被害を減らすため、位置情報を記録するGPSロガーを開発し、カワウに装着。



カワウの生息状況を把握し、個体数をコントロール。



デジハブの詳細はこちら→



地域の「困った」を「とちぎデジタルハブ」で解決！
デジハブは、地域の課題を協働して解決につなげる仕組みです。

問合せ：栃木県総合政策部デジタル戦略課

028-623-2824